

令和 7 年度

「運営に関する計画」

日 本 橋 小 中 一 貫 校
大 阪 市 立 日 本 橋 中 学 校
大 阪 市 立 浪 速 小 学 校

令和 7 年 4 月

日本橋小中一貫校 大阪市立浪速小学校 大阪市立日本橋中学校
令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- ・本校は、施設一体型小中一貫校として、平成29年度に開校した。開校当初から多くの課題に順応し解決解消を、教職員、保護者、地域と共に行い、学校運営の基盤を策定してきた。大阪府教育振興基本計画に従い、令和7年度末までの期間を更なる本校の成長期と位置づけ組織構造の見直しと更なる発展が求められている。
- ・児童生徒への意識調査結果から自己肯定感が全国平均と比較すると、かなり低い現状であるため、キャリア教育の充実、学力向上の推進などを進めることが求められている。
- ・ICT教育を積極的に発展させることや、カリキュラムマネジメントを展開するなど、教職員の資質向上、授業力向上を更に進める必要がある。
- ・開校以来、児童生徒への深い愛情と、本校教育活動へのご支援を戴いている地域の方々や、PTA活動をしてくださっている皆様と今以上に連携を重ね、本校の教育活動に取り組む必要がある。
- ・改正義務教育標準法(公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律)に基づく学級数の増加に伴い、教室配備や施設整備を計画的に行う。小中一貫校としての組織運営を強靱なものとし、業務効率の向上、教職員間の協働、働き方改革を進める。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

＜安全・安心な教育環境の実現＞

(小学校)

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

前年度：小：70.2%

- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を92%以上にする。

前年度：小：91.0%

(中学校)

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

前年度：中：73.0%

- 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上にする。

前年度：中：88.6%

＜豊かな心の育成＞

「特別支援教育の推進」

- 特別支援コーディネーターを1名以上配置し、生徒情報交換会(小中連携会)を毎月2回以上実施する。また中学校入学前の特別支援学級に在籍している児童の様子を毎学期2回以上確認する。

「校内美化」

○校内美化の活動を通じて、年度末の校内調査で「いっしょけんめい清掃活動をしていますか」の質問に対して肯定的な回答を毎年 85%以上に保つ。

令和 5 年度：小 83.3%・中 89.4%、令和 6 年度：小 95.0%・中 88.0%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

＜誰一人取り残さない学力の向上＞

（小学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 35%以上にする。
前年度：34.2%

（中学校）

○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を 45%以上にする。
前年度：38.0%

○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を令和 7 年まで 40%以上に保つ。

令和 5 年度：64.4%、令和 6 年度：38.8%

＜健やかな体の育成＞

（小学校）

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を令和 7 年度までに 62.6%以上にする。
前年度：60.5%

（中学校）

○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合を令和 7 年度までに 53.6%以上にする。
前年度：54.0%

【学びを支える教育環境の充実】

＜教育 D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進＞

○授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数を毎年向上させ、令和 7 年度に 75%にする。
前年度：13 日間

＜生涯学習の支援＞

○年度末の校内調査で「本を読むのが好きですか」という項目に肯定的に回答する児童生徒の割合を、毎年増加させる。

令和 5 年度：小 84.7%・中 67.9%、令和 6 年度：小 95.0%・中 61.0%

＜人材の確保・育成としなやかな組織づくり＞

○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を、85%以上に保つ。

令和 5 年度：87.3%、令和 6 年度：83.3%

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

<安全・安心な教育環境の実現>

(小学校)

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。

前年度：70.2%

- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 93.3%以上にする。

前年度：91.0%

(中学校)

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を 80%以上にする。

前年度：73.0%

- 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 90%以上にする。

前年度：86.6%

<豊かな心の育成>

「特別支援教育の推進」

- 特別支援コーディネーターを 1 名以上配置し、生徒情報交換会（小中連携会）を毎月 1 回実施する。中学校入学前の特別支援学級に在籍している児童の様子を毎学期 1 回確認する。

前年度：小：毎月 1 回、中：毎学期 1 回

「校内美化」

- 校内美化の活動を通じて、年度末の校内調査で「いっしょうけんめい清掃活動をしていますか」の質問に対して肯定的な回答を 85%以上にする。

前年度：小 95.0%・中 88.0%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

<誰一人取り残さない学力の向上>

(小学校)

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 35%以上に保つ。

前年度：34.2%

- 算数科「数と計算」の領域での単元テストの平均を 65 パーセント以上に保つ。

新設

(中学校)

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を 45%以上にする。

前年度：38.0%

- 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 64.5%以上にする。

令和 5 年度：64.4%、令和 6 年度：38.8%

＜健やかな体の育成＞

（小学校）

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上に保つ。

前年度：60.5%

（中学校）

○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合を前年度以上にする。

前年度：54.0%

【学びを支える教育環境の充実】

＜教育D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進＞

○授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等I C T活用が適さない日数を除く〕

前年度：13日間

＜生涯学習の支援＞

○年度末の校内調査で「本を読むのが好きですか」という項目に肯定的に回答する児童生徒の割合を、前年度より増加させる。

前年度：小 95.0%・中 61.0%

＜人材の確保・育成としなやかな組織づくり＞

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を、85%以上にする。

前年度：83.3%

3 本年度の自己評価結果の総括

日本橋小中一貫校 大阪市立浪速小学校 大阪市立日本橋中学校
令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】＜安全・安心な教育環境の実現＞</p> <p>(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">前年度：70.2%</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を93.3%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">前年度：91.0%</p> <p>(中学校)</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">前年度：73.0%</p> <p>○年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">前年度：86.6%</p> <p>＜豊かな心の育成＞</p> <p>「特別支援教育の推進」</p> <p>○特別支援コーディネーターを1名以上配置し、生徒情報交換会（小中連携会）を毎月1回実施する。中学校入学前の特別支援学級に在籍している児童の様子を毎学期1回確認する。</p> <p style="text-align: right;">前年度：小：毎月1回、中：毎学期1回</p> <p>「校内美化」</p> <p>○校内美化の活動を通じて、年度末の校内調査で「いっしょけんめい清掃活動をしていますか」の質問に対して肯定的な回答を85%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">前年度：小95.0%・中88.0%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】（生活指導）</p> <p>いじめ解消・暴力行為の減少において、「いじめについて考える日」を小中それぞれ年 1 回設定し、学校長の講話を実施する。また、集会等でもいじめや他者理解について話を行い、いじめ解消に向けた啓発活動を実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学力経年・校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童割合を 85% 以上にし、生徒割合を 80% 以上にする。 前年：小学校 70.2%・中学校 73.0%</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】（生活指導）</p> <p>規則遵守において、生活指導の方針にそって子どもたちへの説明を初期に実施する。毎月の集会指導等でできまりの確認・啓発を実施する。マンパワー強化を目的に週 4 日配置の生活指導支援員と協力を得るように常に働きかけ、小中ともに生活目標を設定し、啓発活動を実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査で「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。また、中学校では校内調査に「学校の規則を守っていますか。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 前年：小学校 91.0%・中学校 88.6%</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	
<p>取組内容③【1 安全・安心な教育環境の実現】（生活指導）</p> <p>（特別支援教育の推進）</p> <p>小中一貫校の特性を活かし、生徒情報交換会（小中連携会）を実施し、学年や職員会議を通して学校全体の共通理解を図る。また、中学校入学前の特別支援学級に在籍している児童の様子を確認する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>特別支援コーディネーターを小学校で 2 名、中学校で 1 名配置し、生徒情報交換会（小中連携会）を毎月 1 回実施する。また、中学校入学に備えて特別支援学級に在籍している児童の様子を每学期 1 回確認する。 前年：小学校 毎月 1 回・中学校 每学期 1 回</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

取組内容④【5 健やかな体の育成】（健康教育） 児童生徒の美化意識を育むために、清掃強化週間を設定する。また、清掃用具や清掃活動の方法を整備する。		
指標 校内調査で「いっしょうけんめい清掃活動をしていますか」の質問に対して肯定的な回答を85%以上にする。 <div>前年 小学校：95%・中学校：88%</div>		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

日本橋小中一貫校 大阪市立浪速小学校 大阪市立日本橋中学校
令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>＜誰一人取り残さない学力の向上＞</p> <p>(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 35%以上に保つ。</p> <p style="text-align: right;">前年度 : 34.2%</p> <p>○算数科「数と計算」の領域での単元テストの平均を 65 パーセント以上に保つ。</p> <p style="text-align: right;">新設</p> <p>(中学校)</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を 45%以上に保つ。</p> <p style="text-align: right;">前年度 : 38.0%</p> <p>○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) を 64.5%以上に保つ。</p> <p style="text-align: right;">令和 5 年度 : 64.4%、令和 6 年度 : 38.8%</p> <p>＜健やかな体の育成＞</p> <p>(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上に保つ。</p> <p style="text-align: right;">前年度 : 60.5%</p> <p>(中学校)</p> <p>○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合を前年度以上に保つ。</p> <p style="text-align: right;">前年度 : 54.0%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【４ 誰一人取り残さない学力の向上】（学力向上「小学校」） 「個別最適な学びの充実」をテーマとして設定し、知識・技能の定着をめざす。		
指標 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」「ややあてはまる」と回答する児童の割合を 80%以上に保つ。 前年：小学校 34.2%		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		
取組内容②【４ 誰一人取り残さない学力の向上】（学力向上「中学校」） 「言語能力の育成を通して知識の基盤を作る」をテーマとして設定し、知識・技能の定着をめざす。		
指標 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」「ややあてはまる」と回答する生徒の割合を 75%以上にする。 前年：中学校 38%		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		
取組内容③【４ 誰一人取り残さない学力の向上】（学力向上「小学校」） デジタルドリルやプリントなどを活用した反復練習を行い、算数科に関する知識・技能の定着を図る。		
指標 算数科「数と計算」の領域での単元テストの平均を 65 パーセント以上に保つ。 新設		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		
取組内容④【４ 誰一人取り残さない学力の向上】（学力向上「中学校」） 中学３年間を見通した英語教育を推進し、「書くこと」「読むこと」「聞くこと」「話すこと」の技能を高める取り組みを行う。		
指標 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学３年生の割合（４技能）を ４０%以上にする。 前年：中学校 38.8%		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	
<div>取組内容⑤【5 健やかな体の育成】（健康教育「小学校」）</div> <div>体力をつけるため、児童の主体性を高めながら持久力を伸ばす活動を実施する。</div> <div>指標</div> <div>年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。<div>前年 小学校：60.5%</div></div>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	
<div>取組内容⑥【5 健やかな体の育成】（健康教育「中学校」）</div> <div>運動やスポーツに対する興味を持たせ、体力の向上が図れるように、運動場・体育館の開放を計画的に実施する。</div> <div>指標</div> <div>年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。<div>前年 中学校：54%</div></div>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

日本橋小中一貫校 大阪市立浪速小学校 大阪市立日本橋中学校
令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>＜教育D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進＞</p> <p>○授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く。〕 前年度：13 日間</p> <p>＜生涯学習の支援＞</p> <p>○年度末の校内調査で「本を読むのが好きですか」という項目に肯定的に回答する児童生徒の割合を、前年度より増加させる。 前年度：小 95.0%・中 61.0%</p> <p>＜人材の確保・育成としなやかな組織づくり＞</p> <p>○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を、85%以上にする。 前年度：87.3%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進】(学力向上)</p> <p>学習端末を利用する環境を整え、心の天気やデジタルドリル (Navima)、小学校の学習支援ツール (SkyMenu)、デジタル教科書の活用や、Teams を活用してのオンライン全校朝会や集会、Forms を活用した小テストやアンケートなど端末を利用できる機会を増やす。</p>	
<p>指標</p> <p>授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 25%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕 前年：13 日</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

<p>取組内容②【8 生涯学習の支援】(教務)</p> <p>読み聞かせや朝の読書、絵本の広場等の活動を通して読書についての意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校：年度末の校内調査で「本を読むのが好きですか」という項目に肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>中学校：年度末の校内調査で「本を読むのが好きですか」という項目に肯定的に回答する児童生徒の割合を前年度より向上させる。</p> <p style="text-align: right;">前年：小学校 95%・中学校 61%</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】(教務)</p> <p>昼休みや放課後の図書室開放や、学習時間での図書室利用を増やして読書についての意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>図書室の利用、本の貸し出し冊数を前年度より向上させる。</p> <p style="text-align: right;">前年度：小 16,204 冊・中 432 冊</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	
<p>取組内容④【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】(管理職)</p> <p>教職員の働き方改革に関する目標を設定し、夏期と年末年始に学校閉庁日を設定する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を85%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">前年度：87.3%</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	